

令和6年度岡山県「スマート農業技術開発プラットフォーム」 部門別交流（プラカフェ）開催実績

- 1 日 時 令和6年11月28日（木）13:30～16:00
- 2 場 所 岡山市立興除公民館及びイチゴ生産施設
- 3 参加者 プラットフォームの会員企業、イチゴ生産者、関係機関、県の担当者等 35名
- 4 目 的 施設のイチゴ栽培では二酸化炭素のモニタリングによる環境制御技術などの導入が進んでいるが、収穫や出荷調整など、視覚に依存して行われている作業ではスマート機器の導入が難しい状況にある。

また、高設栽培では生産終了後の株の処理や土づくりにも労力を要しており、機械導入による軽労化が課題となっていることから、イチゴのスマート機器開発の取組を進めるため、イチゴの圃場を視察し出荷調整作業などの現状を確認するとともに、作業を補助するAI機械・器具の開発についての講演及び機器の実演、産地の課題解決に向けた意見交換を行った。

5 内 容

- (1) イチゴの生産施設、出荷調整作業などの見学（岡山市内のイチゴ生産施設）
- (2) AIを用いた果物野菜収穫空間センサーによる果実計測
ーイチゴの等級判定への応用ー（講演、機器のデモンストレーション）
（講師：株式会社ビジュアルサーボ 代表取締役 見浪 護 氏）
- (3) AIを活用した農産物の判別、測定機械・器具開発についての意見交換
- (4) イチゴ栽培の省力に向けた機械・器具開発についての意見交換



ほ場見学の様子



講演・デモンストレーションの様子